

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府 阪南市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	阪南市文化遺産活用推進計画	【計画の改善時期】 平成33年度	
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>阪南市生涯学習推進計画（平成27年3月策定）を踏まえ、市民の生涯学習活動の観点から地域の特徴ある文化遺産を活用し、市民と行政が協働して地域の魅力を掘り起こし、愛着の持てるふるさとづくりをめざす。</p> <p>上記推進計画では、基本理念を「まなぶ・はぐくむ・つなぐ 生涯学習のひと・まちづくり」としており、市民が互いに「学び」「育み」「つなぐ」ことで新たな地域づくりにつなげることで具体的な施策の展開を図っている。本実施計画においても、地域の伝統文化をキーワードに、「市民が自主的に学べる環境づくり」「成果を地域に還元する仕組みづくり」「学んだ成果を生かした地域コミュニティづくり」に重点を置いた下記の事業展開により、市民の学習活動を推進し、まちの活性化につなげていく。</p> <p>1. 市民が自主的に学べる環境づくり 幅広い世代の誰もが自主的に学習できるよう支援するために、社会教育施設とも連携を図り、地域の文化遺産の情報提供、学習の機会と場の提供などを積極的に行い、市民がいつでも学習できる環境づくりの施策を推進する。</p> <p>（1）市民主導による地域の有形・無形の文化遺産の活用、啓発 行政主導のありきたりな情報発信ではなく、市民の立場に立った、誰もが活用しやすい地域の文化遺産の媒体を作成する。</p> <p>◆地域の文化遺産資料整備事業（平成27年度～平成33年度） ◆地域の文化遺産を学習するための啓発事業（平成27年度～平成33年度）</p> <p>（2）文化遺産を活用、啓発するための市民ボランティア養成 上記の資料や散策マップを活用した、きめ細かな啓発活動を展開できるよう市民ボランティアを養成する。</p> <p>◆文化遺産を啓発・活用する市民ボランティアの養成（平成27年度～平成33年度）</p> <p>2. 成果を地域に還元する仕組みづくり 学びの成果が自己実現に結びつき、地域社会に還元できることによる新たな学びの機会が生まれるような学習の循環ができる仕組みづくりの施策を、地域の文化遺産を活用して推進する。</p> <p>◆市民ボランティアによるまち案内事業展開（平成30年度～平成33年度）</p> <p>3. 学んだ成果を生かした地域コミュニティづくり 学んだ成果を地域の中で活かすことで、人と人の関わりによる地域の絆（きずな）を深め、地域のコミュニティの再構築につながる施策を推進する。</p> <p>◆歴史資料展示室の活用事業（平成30年度～平成33年度） ◆地域の魅力を発信する阪南市指定文化財の啓発事業（平成30年度～平成33年度）</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、阪南市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>主な担当課、役割…</p> <p>阪南市教育委員会事務局生涯学習推進室：市内の文化遺産に関する情報総括、事業調整等 まちの活力創造課：情報発信、啓発事業における観光分野での情報提供、連携 また、事業については、阪南市文化遺産活用実行委員会（会長：田中幸司）が実施 実行委員会構成団体（まちおこし夢テラス、皿田能実行委員会、阪南市教育委員会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 3,292 千円	平成31年度申請額： 479 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

幅広い年代層に、地域の文化遺産への理解を図ることで、地域を見直すきっかけをつくり、人と人との交流を育むための、文化遺産を活用したまちづくりにつなげることができる。

想定される効果

- 文化遺産資料を製作することで、阪南市の伝統文化への良いイメージづくりと、文化遺産が数多く残る地域を市民が誇りに思えるような環境が構築できる。
- まち案内ボランティア活動のための資料を整備することで、市民レベルでの文化遺産啓発の促進が期待できる。またまち案内ボランティア活動の独自性を生み出すきっかけになり、地域活動の活性化につながる。
- 地域活動・市民活動と連携して進めていくことで、常に多くの市民が積極的に集うような、地域の盛りあがりを実現できる。
- 地域の伝統文化を核として、さまざまな形で地域のことを学習する機会が増えることにつながり地域の活性化につなげることができる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	阪南市文化財展
事業概要：	
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

現時点では歴史文化基本構想の策定計画は無いが、本実施計画が推進し、市民ボランティアの育成が軌道に乗り、文化遺産を活用したまちづくりについての土台ができた段階で検討する。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	阪南市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習推進室
-----------------	---------------------------

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	阪南市歴史資料展示室の年間入場者数			関連事業:		
目標値1:	【現状値】 平成 27 年度 515 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 827 人					
設定根拠1:	平成27年度の数値に、事業展開により年10% (年間52人増) の伸びを見込んで算出。					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
408 人	432 人	人	人	人	人	
-34%	-27%					
目標区分2:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分2:	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	文化財に関する「阪南市職員出前講座」依頼件数			関連事業:		
目標値2:	【現状値】 平成 27 年度 15 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 27 件					
設定根拠2:	平成27年度の数値に、事業展開により年間2件の増加を見込んで算出。					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
14 件	11 件	件	件	件	件	
-8%	-33%					
目標区分3:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分3:	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	市民からの民俗文化財寄贈件数			関連事業:		
目標値3:	【現状値】 平成 27 年度 27 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 39 件					
設定根拠3:	平成27年度の数値に、事業展開により年間2件の増加を見込んで算出。					
進捗状況3:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
16 件	24 件	件	件	件	件	
-92%	-25%					
目標区分4:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分4:	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標4:	まち案内ボランティアグループの年間活動件数			関連事業:		
目標値4:	【現状値】 平成 27 年度 14 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 26 件					
設定根拠4:	平成27年度の数値に、事業展開により年間2件の増加を見込んで算出。					
進捗状況4:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
14 件	13 件	件	件	件	件	
0%	-8%					

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	地域の文化遺産資料整備事業					実施団体：	阪南市文化遺産活用実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	地域の方々の意見を取り入れて、地域の散策マップや文化遺産に触れることができる啓発冊子、地域の文化遺産啓発のための紙芝居の作成など、啓発に必要な資料整備に取り組む。										
評価指標区分：	・アプリ等の利用者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	作成した啓発冊子の市立図書館等での貸出回数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 回										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
5 回	6 回	回	回	回	回						
17%	20%										
事業②：	地域の文化遺産を学習するための啓発事業					実施団体：	阪南市文化遺産活用実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	次世代を担う子ども達や若い世代の親子を対象に、地域の文化遺産に関する学習講座を実施します。市民誰もが親しみやすい取り組みにするためにも、毎回取りあげる文化遺産のテーマを決め、そこから地域の魅力発見につなげる。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	「歴史体験教室」「まちの歴史発見講座」に協力依頼ができた団体数										
目標値：	【現状値】 平成 27 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 6 件										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
2 件	4 件	件	件	件	件						
33%	67%										
事業③：	文化遺産を啓発・活用する市民ボランティアの養成					実施団体：	阪南市文化遺産活用実行委員会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	地域の文化遺産にも精通した大学教授や郷土史家を講師に「まち案内ボランティア講座」を実施し文化遺産を活用する市民活動につながるボランティアを養成する。										
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	ボランティアガイドの登録者数										
目標値：	【現状値】 平成 27 年度 15 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 45 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
16 人	19 人	人	人	人	人						
3%	13%										

事業④：	市民ボランティアによるまち案内事業展開	実施団体：	阪南市文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	養成した市民ボランティアが、依頼を受けるだけでなく、自らが企画した文化遺産の啓発事業を市民に対して提案・実施することで、学習成果を地域に還元するしくみをつくる。					
評価指標区分：	・ボランティアガイド利用者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	ボランティアガイドによる自主企画事業数					
目標値：	平成 28 年度		0 件	⇒	平成 33 年度 10 件	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 件	1 件	件	件	件	件	
0%	10%					
事業⑤：	歴史資料展示室の活用事業	実施団体：	阪南市文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	普段は管理人の不在な歴史資料展示室を、市民ボランティアの活動の中で開館し、案内業務を行うことで、市民ボランティアによる地域住民への文化遺産啓発を推進する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市民ボランティアによる歴史資料展示室の開館回数。					
目標値：	平成 28 年度		0 件	⇒	平成 33 年度 6 件	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 件	1 件	件	件	件	件	
0%	17%					
事業⑥：	地域の魅力を発信する阪南市指定文化財の啓発事業	実施団体：	阪南市文化遺産活用実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	地域独特の文化遺産である、阪南市指定文化財を中心に取り上げ、まち歩きや講演会を実施することで地域住民への意識向上を図る。実施にあたっては、近隣の市民活動団体と協力し、団体活動の中での地域学習の場としての開催をめざす。					
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市民ボランティアが企画・運営する「まち歩き講座」等の文化遺産啓発事業への協力団体数					
目標値：	平成 28 年度		0 団体	⇒	平成 33 年度 20 団体	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 団体	2 団体	団体	団体	団体	団体	
0%	10%					